



子どもに送られてくる震災に便乗した悪質メールに注意！

事例1 地震の揺れを感じた直後、「地震速報」というタイトルのEメールが届いた。「詳細情報はこちら」とあったため、そのアドレスをクリックしたところ、突然出会い系サイトにつながり、「ご利用ありがとうございます。利用料金1万円支払って」と画面に表示された。支払い義務はあるのか。(当事者：男性17歳)

事例2 高校生の娘の携帯電話に、友人から震災募金の協力要請のEメールが届き、同じ内容を10人にEメールで送るよう書かれていた。募金先は聞いたことのないNPO法人となっているが大丈夫か。(当事者：女性16歳)

★ひとことアドバイス★

☆震災に便乗した悪質なEメールのトラブルが発生しており、子どもにも被害が及んでいます。事例1の場合、契約を確認する場面がないため支払い義務はないと判断できます。

☆事例のように、地震に関する情報提供を装って出会い系サイトやアダルトサイトに誘導する手口のほか、「義援金」「募金」を名目としたものもあります。

☆多数の人へのメール転送を強要する「チェーンメール」は、内容の真偽が不明であるほか、通信ネットワークに負担を掛け、必要なEメールが届きにくくなる可能性もあります。転送は絶対にやめましょう。

☆義援金を送る場合は、信用できる団体であることを確認してから送るようにしましょう。

トラブルに遭われた方は

一人で悩まず、早めにご相談ください。

<相談日>

月～金曜日(午前9時～午後4時)

<問い合わせ>

牛久市消費生活センター

☎830-8802 FAX830-8803

みんなの 農業

おなじみの

「うしく河童米」が おみそに！

～うしくスタイル～

今年で7回目を迎えたオーナー制の「うしく河童米」がおみそになります。市内の老舗ヤマイチ味噌(島田町)が、うしく河童米を麴に使ったおみそを10月上旬に販売開始の予定です。現在も、熟成期間の短い白みそは店頭で量り売りしています。

「うしく河童米は県のエコ農産物認定を受けた地元の安全な食材。そのうしく河童米を使って、地域の味をお客さまに提供したかった」と坪井幸弘社長は語ります。うしく河童米で造った麴は出来が良く、まさに会社のモットーとする「オンリーワン商品、安全で安心な商品の提供」にぴったりの一品となったようです。

現在では、国内外の遠く離れた所から様々な食材が運ばれてきます。でも、身近にあるおいしい食材を生かさなないなんてもったいない！牛久はたくさんの農作物がとれる自然に恵まれた所です。もっともっと地域の食材が地元で生かされるよう、業種を超えたつながりを広げていきましょう。

※うしく河童米のオーナー募集は4月20日から始まっています。



問い合わせ 市農業政策課 ☎内線1521、1522